

# ウイルス バスター 2001

VIRUS BUSTER

ナビゲータブック



# トレンドマイクロの 企業向けウイルス対策ソリューション

企業のクライアント/サーバシステムを  
ウイルスから保護し、統合管理を実現します。

## Trend Virus Control Systemサーバ

### ●Trend Virus Control System

ローカルエリアネットワーク(LAN)、ワイドエリアネットワーク(WAN)にインストールされたウイルス対策製品®を集中管理することができます。管理者は、Trend Virus Control SystemのWebコンソールを介して、プラットフォームを越えたウイルス対策製品の機能設定、監視およびメンテナンスをすることができます。

※ 一部を除くトレンドマイクロ製品、および多数の他社製品

インターネット



Windows NT サーバ

### ●InterScan VirusWall

SMTP、HTTP、FTPのファイル転送をリアルタイムにウイルスチェックし、社内へのウイルス感染を監視するだけでなく、社外へのウイルスの流出もチェック。ウイルス対策とコンテンツフィルタリングをサポートしています。

Gateway サーバ

Notes サーバ



Exchange サーバ

### ●Groupware

グループウェア上でのe-mailや、社内システムとして稼動する掲示板などを管理するデータベース内のウイルスチェックを、リアルタイムで監視。レプリケーションに対応し、多くのサーバを運用している会社でも安心です。

## 情報資産を保護するインターネットセキュリティ



### ●ServerProtect

ファイルサーバでウイルス感染をリアルタイムで監視。企業ネットワークの貴重なデータを守ります。また、複数のサーバをドメインとして集中管理できます。

●NetWare サーバ



### ●ウイルスバスター コーポレートエディション

すべてのクライアントのウイルス感染をリアルタイムで監視。Webブラウザを介してクライアント管理を実現します。

●サーバ

クライアントPC  
Windows 95/98

クライアントPC  
Windows NT

クライアントPC  
Windows 3.1

コンピュータウイルスの感染経路は、多岐にわたっています。e-mailに感染ファイルが添付されているなど、外部からのファイルで感染するケースのほか、社内LANや掲示板などの社内情報をダウンロードしたときにも感染する場合があります。企業内でネットワーク環境が整備されてきた現在、システムの環境に合わせたウイルス監視と駆除体制の必要性が高まっています。トレンドマイクロのトータルソリューションは、「ゲートウェイ」「サーバ」「グループウェア」「クライアント」の各レイヤでウイルスを防御し、「管理コンソール」で統合管理を実現。企業全体のウイルス対策を総合的にサポートします。

### ●企業向け製品のお問い合わせ

トレンドマイクロ株式会社

東京本社：〒151-8583 東京都渋谷区代々木2-2-1 小田急サザンタワー10F TEL.03-5334-3650  
大阪営業所：〒541-0059 大阪府大阪市中央区博労町3-5-1 セイコー大阪ビル7F TEL.06-6258-8091  
名古屋営業所：〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅5-31-10 リンクス名駅ビル11F TEL.052-564-8221  
福岡営業所：〒812-0038 福岡県福岡市博多区祇園町4-13 博多ゼネラルビル8F TEL.092-263-8160

Copyright © 1995-2000 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.

本ドキュメントに関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態及び手段を問わず、本ドキュメント又はその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、ドキュメントの記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本ドキュメント及びその記述内容は予告なしに変更されることがあります。

TRENDMICRO、ウイルスバスター、eDoctor、Trend Virus Control System、INTERSCAN VIRUSWALL 及び WebTrap は、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。

本ドキュメントに記載されている各社の社名、製品名及びサービス名は、各社の商標又は登録商標です。

# ウイルスバスター2001

VIRUS BUSTER  
ナビゲータブック

## 新時代の インターネット セキュリティ ソフトウェア



### 目次

ウイルスバスター 2001 へようこそ！ .....	6
動作環境 .....	8
インストールの前に .....	9
インストール .....	10
インストール時にウイルスが発見された場合 / アンインストール .....	12
起動と終了 / メイン画面の表示 .....	13
メイン画面を表示したら… .....	14
ツールバーアイコン .....	15
イージーモード .....	16
アドバンスモード .....	18
リアルタイム検索 / 手動検索 .....	20
ウイルス駆除 .....	21
ウイルス隔離 / ウイルス解析 .....	22
WebTrap / URL フィルタ .....	23
メール検索 .....	24
パーソナルファイアウォール .....	25
インテリジェントアップデート .....	26
救済ディスク .....	27
メニューの表示とショートカットキー .....	28
操作について困ったときは… .....	29
ウイルス感染を防ぐために .....	30
ウイルスに感染してしまったら… .....	31
索引 .....	34

# ウイルスバスター 2001 へようこそ！

## 不正アクセスとコンピュータウイルスの両方をブロック！

コンピュータウイルス対策ソフトウェアとしてご好評いただいているウイルスバスターが、新時代のインターネットセキュリティ対策ソフトウェアとしてさらにパワーアップしました。ウイルスバスター2001は、インターネットの普及にとともに、これまで以上に深刻な問題になっているコンピュータウイルスや不正アクセスから貴重なデータやプログラムを守ります。ここでは、ウイルスバスター 2001 の新機能と主な機能を紹介します。

### NEW 生まれ変わったユーザインタフェース

ユーザが自由に選択できる2つのモードを用意しました。イーザーモードでは、シンプルでわかりやすい画面から、面倒な設定をすることなくウイルスバスターの機能を実行できます。アドバンスモードではウイルスバスターの機能をユーザの環境に合わせて詳細に設定し実行することができます。



アドバンス  
モード

イーザーモード

### NEW パーソナルファイアウォール

不正アクセスによるコンピュータ上の情報の改ざん、破壊行為などが問題となっており、セキュリティ対策の必要性が高まっています。ウイルスバスター 2001 では新たにパーソナルファイアウォール機能を搭載しました。この機能により、不正アクセスをブロックすると同時にコンピュータ内部の情報が外部へ流出するのを防ぐことができます。

#### パケットフィルタリング機能

パーソナルファイアウォールは、パケットフィルタリング技術を用いてIPアドレス、プロトコルの種類、ポート番号を指定したルールにより、パケットの送受信を監視します。ルールはユーザが自由に作成、編集できます。

すでに確認されている不正アクセスプログラムについては、その不正行為を発見するためのルールを集めたデータベースを用意しています。ユーザが設定する必要はありません。

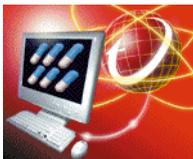


## NEW インテリジェントアップデート

ウイルスバスター2001では、コンピュータを起動後、インターネット接続を検知すると自動的にトレンドマイクロの専用サーバにアクセスし、サーバ上のパターンファイルや検索エンジン、プログラムのバージョン(番号)をチェックします。使用中のものより新しいものがサーバ上であれば、ダウンロードを開始するかどうかメッセージを表示してお知らせします。

また、新たに追加されたパターンファイルのみをダウンロードする差分アップデート方式を採用しており、ダウンロード時間を短縮しています。

インテリジェントアップデート機能により、最新のパターンファイル、検索エンジン、プログラムを使用したウイルス対策がいちはやく実行できます。トレンドマイクロでは、新種のウイルスに対応するために、通常1週間に1度、新しいパターンファイルを提供しています。また、緊急時には迅速に新しいパターンファイルを提供します。



### パターンファイルとは...

コンピュータウイルスには、人間の指紋のように個々のウイルス特有の特徴があり、これをウイルスパターンと呼びます。ウイルスパターンファイルは、このウイルスの「指紋」を集めたデータベースです。ウイルスバスターはこのデータベースと各ファイルを照合し、一致する「指紋」がないかチェックします。

### Trend eDoctor Japan

トレンドマイクロでは、日本、台湾、米国、ヨーロッパの各拠点のウイルス対策チームが連携して情報交換を行い、世界中のウイルス情報をいち早く収集して調査、解析する体制を取っています。ウイルスバスターユーザのウイルス解析依頼には、日本のウイルス対策専門組織「Trend eDoctor Japan」が迅速に対応し、日本語で回答いたします。

## ウイルスバスター 2001 の主な機能

### リアルタイム検索

コンピュータへのウイルスの侵入を常に監視し、ウイルスが侵入した瞬間にウイルスを発見、処理する機能です。

### 手動検索

「ウイルスに感染していないことを確かめたい!」そんなときにいつでもウイルス検索を開始できます。全ドライブ検索や、ドライブやフォルダを選択しての検索、またファイルごとの検索が簡単な操作で実行できます。

### 予約検索

すべてのファイルを月1回、プログラムのみを週1回、C:ドライブのみを月1回自動的にウイルス検索します(初期設定の場合)。予約設定は自由に変更できます。

### メール検索

e-mailを受信する瞬間に、添付ファイルに潜むウイルスを発見、処理する機能です(POP3サーバに対応)。

### ウイルス駆除

感染ファイルからウイルスのみを取り除く機能です。駆除されたファイルは正常なファイルとして使用できます。

### ウイルス隔離

ウイルス駆除できない感染ファイルや感染の疑いのあるファイルを、ファイルごと隔離する機能です。

### ウイルス解析依頼

新種ウイルスに感染した疑いがあるファイルを、操作画面から直接トレンドマイクロのウイルス対策専門組織「Trend eDoctor Japan」に送信して解析を依頼することができます。

### WebTrap

不正プログラム(不正なJava アプレット、ActiveX コントロール)のダウンロードを監視する機能です。

### URL フィルタ

不適切なホームページへのアクセスを制限する機能です。

### Zip クリーン

Zip形式で圧縮されたファイルを自動的に解凍し、ウイルスを検出、処理した後、ファイルを元の圧縮された状態に戻す機能です。

# 動作環境

対応 OS	日本語版 Microsoft Windows 95 (サービスパックが導入済みで 2000 年問題修正プログラムが導入済みのもの) 日本語版 Microsoft Windows 98 日本語版 Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版 Microsoft Windows NT Workstation 4.0 (サービスパック 5 以上) 日本語版 Microsoft Windows 2000 Professional Microsoft Internet Explorer 4.0 以上が必要です。 Windows NT Workstation 4.0 ではパーソナルファイアウォール機能はご利用いただけません。
ハードウェア環境	Pentium 133MHz以上のマイクロプロセッサ(または互換プロセッサ)を搭載したPC/AT互換機、または NEC PC-9800 シリーズ マルチプロセッサには対応しません。 Windows 2000 Professionalでは、Pentium 166MHz以上のマイクロプロセッサ(互換プロセッサ)を搭載した PC/AT 互換機が必要です。
メモリ	32MB 以上 (64MB 以上を推奨) Windows 2000 Professionalでは 64MB 以上が必要です。
ハードディスク	20MB 以上のハードディスク空き容量
ディスプレイ	256 色以上をサポート

注意：必要なメモリ容量、ハードディスク容量はシステム環境によって異なる場合があります。  
対応 OS およびその動作環境は変更される場合があります。最新の情報は Readme ファイルをお読みください。

## インターネット接続を必要とする機能のご使用にあたって

ウイルスバスター 2001 のオンラインユーザ登録、ファイルのダウンロード、ウイルス情報および他の Web ページの閲覧、e-mail およびファイルの送信などの機能をご利用になるにはインターネット接続環境が必要となります。

インターネットへの接続には、インターネットプロバイダへの加入およびプロバイダ各社に対応したモデムまたはターミナルアダプタが必要です(インターネットに常時接続されたネットワークをご利用の場合は除きます)。

インターネットに接続した場合の通信費はお客様の負担となります。

インターネット接続にルータをご使用の場合、ご使用のルータの機種によっては、インテリジェントアップデートをお使いになるとコンピュータの起動後ルータが自動的にダイヤルアップ接続を開始する場合がございます。この場合、ルータ側の設定を変更する必要がありますのでご注意ください。

# インストールの前に

## 動作環境の確認

インストールする前に「動作環境」を参照し、インストールするコンピュータの環境を確認してください。

## 旧バージョンまたは他社製品のアンインストール

ウイルスバスター2001をインストールするには、旧バージョン(または他社のウイルス対策製品)をアンインストールする必要があります。

プログラムが起動している場合、終了してからアンインストールしてください。

アンインストールがうまくいかない場合、まず旧バージョン(または他社のウイルス対策製品)をインストールし直し(同じフォルダを選択してください)、再度アンインストールを実行してください。

## インストール時のウイルス検索

インストール時に、インストールするコンピュータの一部をウイルス検索します。ウイルスが発見された場合は、「ウイルス発見!」のメッセージが表示されます。

インストール中にこのメッセージが表示された場合は12ページの「インストール時にウイルスが発見された場合」を参照してください。

## インターネット接続の種類について

インストール時に、インストールするコンピュータのインターネット接続環境を指定する必要があります。[ダイヤルアップ][ルータ][常時接続][インターネット接続なし]から選択します。どのような接続環境をお使いかわかりでない場合は、インストール前にご確認ください。

### ダイヤルアップ

1台のコンピュータにモデムまたはターミナルアダプタが接続(または内蔵)されており、電話回線につないで接続している場合。

### ルータ

ダイヤルアップルータを使用して接続している場合。

### 常時接続

ネットワークで常時接続している場合。

企業内ネットワークなどをご利用でネットワーク管理者がいる場合は、ネットワーク管理者にご確認ください。また、インターネット接続を必要とする機能をご利用の前に、プロキシ設定が必要となる場合もございます(26ページの「プロキシサーバの設定」参照)。あわせてネットワーク管理者にご確認ください。

## オンラインユーザ登録について

トレンドマイクロのサポートサービスは、ユーザ登録をしていただいた方のみを提供させていただいております。ウイルスバスター2001では、オンラインでのユーザ登録機能を提供していません。インストールが完了したらすぐにユーザ登録していただくことをおすすめします。なお、インターネットをご利用いただけない環境ではオンラインでのユーザ登録はできません。

オンライン以外でのユーザ登録の方法、その他ユーザ登録とサポートサービスの詳しい内容につきましては、パッケージに同梱される「はじめにお読みください」を参照してください。なお、ウイルスバスター2001のパッケージ購入以外でご利用の場合、提供されるドキュメントの形態が異なる場合がございます。

# インストール

## 1 インストーラの起動

起動している他のプログラムがあれば、すべて終了してください。

ウイルスバスター 2001 の CD-ROM をドライブに挿入します。表示される画面から [ インストール ] を選択し、インストールの準備を開始します。



自動的に画面が表示されない場合、[ マイコンピュータ ] から、挿入した CD-ROM の SETUP フォルダにある SETUP.EXE プログラムを探し、ダブルクリックしてプログラムを起動してください。

注意: Windows NT および Windows 2000 の場合、インストール時に管理者権限が必要となります。

## 2 旧バージョンのアンインストール

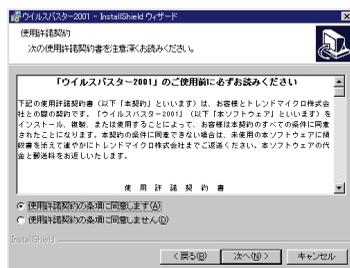
セットアッププログラムは旧バージョンのウイルスバスター (および他社のウイルス対策製品) がないか検索します。見つかったらメッセージでお知らせします。インストールを開始する前に旧バージョン (または他社製品) をアンインストールしてください (9 ページの「旧バージョンまたは他社製品のアンインストール」を参照)。

## 3 セットアップの開始

ウイルスバスター 2001 のセットアップが開始され、画面が表示されます。[ 次へ ] ボタンをクリックしてください。

## 4 使用許諾の確認

画面に表示される使用許諾をよくお読みください。



使用許諾に同意しインストールを続ける場合は [ 使用許諾契約の条項に同意します ] をチェックして [ 次へ ] ボタンをクリックしてください。

## 5 ウィルス検索

システムのウイルス検索が開始されます。



ウイルスが発見された場合は、12 ページの「インストール時にウイルスが発見された場合」を参照してください。

### 検索の対象となるファイル

Windows がインストールされたドライブのルートと Windows のシステムフォルダの、拡張子が SYS、COM、EXE、DOC、DOT、XLA、XLS、XLT、DOS のファイルです。インストール完了後、全ドライブを対象にウイルス検索をおすすめします。

## 6 ユーザ情報の入力

ユーザ情報(ユーザ名、所属、シリアル番号)を入力し、[次へ]ボタンをクリックします。



シリアル番号は半角の英数字で入力します。日本語入力システム(IMEなど)が起動している場合は、オフにして入力してください。

---

注意: シリアル番号を入力しないと体験版(使用期間30日限定)としてインストールされます。

---

## 7 インストール先の選択

インストール先を選択する画面が表示されます。

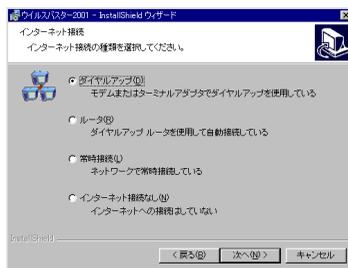
通常、「C:\Program Files\Trend Micro \Virus Buster 2001」にプログラムがインストールされます。

インストール先を変更する場合は、インストール先フォルダ]欄の[参照]ボタンでインストール先を選択してください。

[次へ]ボタンをクリックします。

## 8 インターネット接続の種類

インストールするコンピュータのインターネット接続環境を[ダイヤルアップ][ルータ][常時接続][インターネット接続なし]から選択します。詳しくは9ページの「インターネット接続の種類について」を参照してください。



## 9 コピーの開始

インストールファイルをコピーする準備が完了したら、[インストール]をクリックします。ファイルのコピーが開始されます。

## 10 インストールの完了

インストール完了をお知らせする画面が表示されます。[完了]をクリックするとインストールが完了します。

Windows 95/98をご利用の場合、ウイルスバスター2001を有効にするには、コンピュータを再起動する必要があります。

---

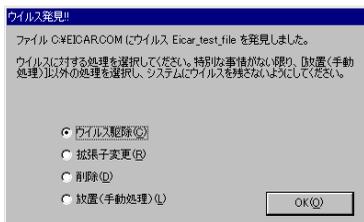
注意: ウイルスバスターのご使用前に Readme ファイルを必ずお読みください。Readme ファイルにはマニュアルに記載されなかった事項や、注意事項が記載されています。

---

# インストール時にウイルスが発見された場合 / アンインストール

## インストール時にウイルスが発見された場合

ウイルスバスターでは、インストール時にファイル感染型ウイルスを発見した場合[ウイルス発見!]のメッセージを表示し、感染ファイルを処理します。



処理を選択して[ OK ]ボタンをクリックすると、ウイルス感染ファイルが処理されます。

メモリ中にウイルスが発見された場合、インストールは中止されます。インストールを実行するにはメモリ中のウイルスを駆除する必要があります。

ウイルス駆除作業にはOSに関する高度な知識が必要な場合もあります。不明な点がございましたらトレンドマイクロのサポートセンターにご相談ください。

## アンインストール

ウイルスバスター 2001 をアンインストールするには、次の手順にしたがってください。

1. 起動しているプログラムを終了します。ウイルスバスター 2001 の終了手順については、13 ページの「ウイルスバスターの終了」を参照してください。
2. [ スタート ]メニューから[ 設定 ] [ コントロールパネル ]を選択します。[ アプリケーションの追加と削除 ]をダブルクリックします。
3. ダイアログボックスのリストから[ ウイルスバスター 2001 ]を選択し、[ 追加と削除 ]ボタンをクリックします。
4. [ この製品をアンインストールしますか? ]のメッセージが表示されます。[ はい ]をクリックします。
5. [ インストールを継続するには次のアプリケーションを閉じる必要があります ]のメッセージが表示される場合は、そのアプリケーションを終了して[ 再試行 ]ボタンをクリックするか、[ 無視 ]ボタンをクリックして続行します。
6. アンインストールが完了したらシステムを再起動してください。

# 起動と終了 / メイン画面の表示

## ウイルスバスターの起動

ウイルスバスターがインストールされたコンピュータを起動すると、自動的にウイルスバスターのリアルタイム検索機能が働きます。リアルタイム検索はコンピュータへのウイルスの侵入をバックグラウンドで常に監視します。

リアルタイム検索の実行状況は、コンピュータ画面の右下にある Windows タスクトレイのアイコン(  )表示で確認できます。停止している場合、稲妻部分がグレーのアイコンが表示されます。

実行中  (青) 停止時  (グレー)

## メイン画面の起動

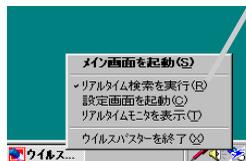
ウイルスバスターのさまざまな機能を実行するにはメイン画面を起動(表示)します。メイン画面を起動するには次のいずれかの手順にしてください。

[スタート]メニューから[プログラム] [ウイルスバスター 2001]の[ウイルスバスター 2001]を選択します。メイン画面が表示されます。

Windows タスクトレイのアイコン(  )をダブルクリックします。メイン画面が表示されます。

Windows タスクトレイのウイルスバスター 2001のアイコン(  )を右クリックし、表示されたメニューから[メイン画面を起動]を選択します。メイン画面が表示されます。

 を右クリックするとメニューが表示されます。ダブルクリックするとメイン画面が起動します。



## ウイルスバスターの終了

ウイルスバスターのメイン画面を閉じた状態でも、ウイルスバスターは起動しています。ウイルスバスターをアンインストールするなど、何らかの理由でウイルスバスターを終了する必要がある場合は、次の手順にしたがってください。

1. Windows タスクトレイのウイルスバスター 2001のアイコン(  )を右クリックします。
2. 表示されたメニューから、[ウイルスバスターを終了]を選択します。
3. リアルタイム検索を終了するか確認するメッセージが表示されます。
4. [はい]をクリックします。

注意: ウイルスバスターの終了後に、再度リアルタイム検索を実行するには、[スタート]メニューから[プログラム] [ウイルスバスター 2001] [リアルタイムモニタ]を選択します。

### メイン画面を起動

メイン画面を表示します。

### リアルタイム検索を実行

チェックをはずすとリアルタイム検索が停止します。

### 設定画面を起動

設定画面を表示します。

### リアルタイムモニタを表示

リアルタイムモニタを表示します。使用しているパターンファイルの番号と最後に検索したファイルが確認できます。

### ウイルスバスターを終了

ウイルスバスターを終了します。

# メイン画面を表示したら...

インストール後メイン画面を表示したら、各アイコンをクリックしてください。お使いのコンピュータのセキュリティ対策を簡単に開始できます。

なお、最新パターンファイルのダウンロードサービスを利用するには、[ ユーザ登録 / アップグレード ] ですべての必要事項を登録していただく必要があります(オンライン登録、ファイルのダウンロードにはインターネット接続環境が必要です)。

## 最新版をダウンロード

アップデートの画面が表示されます。[ アップデート ] ボタンをクリックするとトレンドマイクロの専用サーバからパターンファイル、プログラムのダウンロードが実行されます。

注意：すでに最新のファイルをご利用になっている場合、アップデートを実行してもファイルが更新されない場合があります。

## 全ドライブ検索

ウイルス検索を実行します。お使いのコンピュータのすべてのドライブが検索の対象となります(ネットワークドライブは除きます)。

## パーソナルファイアウォール

アイコンをクリックすると、パーソナルファイアウォールのステータスを示す画面が表示されます。パーソナルファイアウォールは、お使いのコンピュータを不正アクセスから守るための機能です。

## クイックツアー

ウイルスバスターヘルプのクイックツアーが表示されます。操作を開始する前にまずご利用ください。セキュリティ対策をすぐに開始できるよう、ユーザ登録の方法やプログラムの主な機能、操作手順についてわかりやすく説明しています。

## ユーザ登録 / アップグレード

アイコンをクリックすると、[ ユーザ登録 ] の画面が表示されます。画面の指示にしたがって体験版からのアップグレード(シリアル番号登録) オンラインでのユーザ登録、ライセンスキー登録に必要な情報を入力してください。

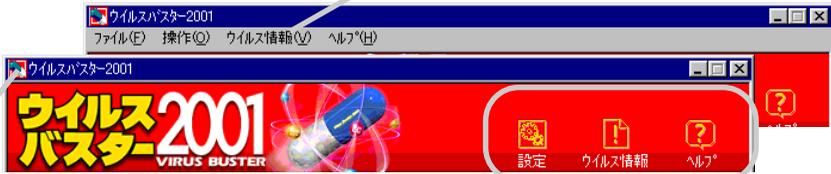


# ツールバーアイコン

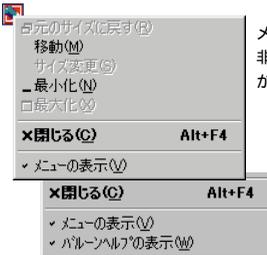
メイン画面の右上に表示されるツールバーアイコンから設定画面、ウイルス情報、ヘルプを表示できます。

## メニュー

メニューの表示 / 非表示を画面左肩のアイコンから選択することができます。



## ツールバーアイコン



メニューの表示 / 非表示の選択などができます。

設定画面では、パネルヘルプの表示 / 非表示を選択できます。(メイン画面、設定画面の両方の表示に反映されます。)

## 設定



アイコンをクリックすると設定画面が表示されます。

## ウイルス情報

インターネット接続環境が必要です。



アイコンをクリックすると次の2つのメニューが表示されます。

### 【ウイルスデータベース】

Webブラウザが起動しトレンドマイクロのウイルスデータベースのページが表示されます。

### 【ウイルス情報】

Webブラウザが起動しトレンドマイクロのウイルス情報のページが表示されます。



ウイルスデータベース

## ヘルプ



アイコンをクリックすると次の2つのメニューが表示されます。

### 【ヘルプ】

ウイルスバスターのヘルプが表示されます。

### 【バージョン情報】

ウイルスバスターのバージョン情報が表示されます。



バージョン情報

# イーजीモード

## イーजीモードとアドバンスモード

ウイルスバスター 2001 ではイーजीモードとアドバンスモードの 2 種類のモードがあります。

### イーजीモード

シンプルでわかりやすい画面から、面倒な設定をすることなくウイルスバスターの機能を実行できます。

### アドバンスモード

ウイルスバスターの機能をユーザの環境に合わせて詳細に設定し実行することができます。

ウイルスバスター 2001をインストールすると、初期設定ではイーजीモードが選択されています。必要に応じていつでもイーजीモード、アドバンスモードを切り替えてお使いいただくことができます。

各モードで設定した内容は、両方のモードで共通です。つまり、アドバンスモードで詳細に設定した内容はイーजीモードでも適用されます。逆にイーजीモードで選択した各機能の実行 / 停止の設定は、アドバンスモードでも有効になります。



イーजीモードのメイン画面

## イーजीモードでは

イーजीモードではウイルスバスターの主要な機能が利用できます。

### リアルタイム検索

バックグラウンドで常にウイルスの侵入を監視します。

### 手動検索

必要ときに、ボタン1つで全ローカルドライブをウイルス検索できます(全ドライブ検索)。また、ファイルを個別にウイルス検索することもできます。

### 予約検索

すべてのファイルを月1回、プログラムのみを週1回、C:ドライブのみを月1回自動的にウイルス検索します(初期設定の場合)。

### メール検索

e-mailによるウイルスの侵入を監視します。

### WebTrap

インターネットからの不正プログラム(不正なJava アプレット、ActiveX コントロール)のダウンロードを監視します。

### URL フィルタ

不適切なホームページへのアクセスを制限します(アドバンスモードで制限するアドレスを指定しておく必要があります)。

### パーソナルファイアウォール

お使いのコンピュータを外部からの不正アクセスから守ります。

### インテリジェントアップデート

トレンドマイクロの専用サーバに最新のパターンファイル、プログラムがあれば自動的にメッセージを表示します。

### 手動アップデート(最新版をダウンロード)

必要ときに、ボタンをクリックして最新のパターンファイルのダウンロードを開始できます。

## 設定画面を表示する

メイン画面の「設定」ツールバーアイコンをクリックすると設定画面が表示されます。

## イージーモードの設定画面

リアルタイム検索、メール検索、WebTrap、URLフィルタ、パーソナルファイアウォールの使用/停止が選択できます。

## アドバンスモードへの切り替え

モード切り替えスイッチをクリックすると、イージーモードとアドバンスモードを切り替えることができます。

切り替えたモードは画面を閉じても選択されています。アドバンスモードに切り替えた場合、次回もアドバンスモードで起動します。



モード切り替えスイッチ



イージーモード選択時

「EASY」が黄色で表示されます。



アドバンスモード選択時

「ADVANCE」が黄色で表示されます。

各機能の使用 / 停止が選択  
できます。変更する場合は、  
チェックボックスをク  
リックしてください。

各モードで設定した内容は、両方のモードで共通です。イージーモードで選択した各機能の実行 / 停止の設定は、アドバンスモードでも有効になります。

# アドバンスモード

## アドバンスモードについて

アドバンスモードでは、ウイルスバスターの機能をユーザの環境に合わせて詳細に設定し、実行することができます。

## モードの切り替え

[メイン画面を表示]で最初に表示される画面はイージーモードのメイン画面です。アドバンスモードに切り替えるには設定画面を表示し、モード切り替えスイッチをクリックしてください。

## メイン画面

アドバンスモードのメイン画面には機能バーと作業領域が表示されます。

機能バーのボタンをクリックして必要な機能の作業領域を簡単に表示することができます。それぞれの作業領域には[この画面の説明]ボタンが表示されます。詳しい操作手順については、このボタンをクリックしてヘルプを参照してください。



## アドバンスモードの設定画面

アドバンスモードの設定画面には機能バーと作業領域が表示されます。

機能バーの各設定メニューを選択して必要な機能の作業領域を簡単に表示することができます。それぞれの作業領域には[この画面の説明]ボタンが表示されます。詳しい操作手順については、このボタンをクリックしてヘルプを参照してください。

**メニュー**  
メニューの表示 / 非表示を画面左肩のアイコンから選択することができます。

**モード切り替えスイッチ**  
ADVANCE EASY MODE

**機能バー**  
各設定メニューをクリックすると作業領域の表示内容が機能に応じて切り替わります。

**設定メニュー**  
検索設定  
検索設定  
手動検索  
リアルタイム検索  
メール検索  
タスクの編集  
アカウント設定  
インターネットセキュリティ  
ユーザ登録

**作業領域**  
機能バーで選択した機能にしたがって、各種オプションが表示されます。

**この画面の説明**  
表示されている画面について説明するヘルプが表示されます。

**適用**  
設定を変更するには[適用]ボタンをクリックし、変更内容を保存します。

ウイルスバスター2001 設定  
ウイルスバスター2001  
設定メニュー  
手動検索設定  
検索対象(1):  
すべてのファイル  
ファイル形式の選択(2)  
ウイルス検出処理  
バックアップを作成(3) 圧縮ファイルのウイルス検出(4)  
ウイルス発見時の処理(5) ウイルス検出に失敗した場合の処理(6)  
ウイルス検除 隔離  
キャンセル 適用(A) この画面の説明(E)

# リアルタイム検索 / 手動検索

## リアルタイム検索

リアルタイム検索は、お使いのコンピュータを常に監視し、ウイルスを侵入と同時に検出(発見)する機能です。ウイルスを検出した場合は自動的に駆除または隔離します(初期設定の場合)。ウイルス検索は、ファイルを開く、またはコピー、保存、移動するたびに自動的にバックグラウンドで実行されます。

タスクトレイ上のウイルスバスターアイコンを右クリックし、リアルタイム検索の実行/停止を選択することができます(13ページの「ウイルスバスターの起動」を参照)。

アドバンスモードの設定画面では検索オプションや処理などの詳細を設定することができます。

## 手動検索

ウイルスバスターでは、ウイルス検索を手動で実行、つまり必要を感じたときにウイルス検索を開始することができます。

何らかの理由でリアルタイム検索機能を停止しているときにファイルがコピーされた場合などはウイルス感染の可能性が残ります。このような場合、または新しいパターンファイルにアップデート(更新)したときに、ファイルやドライブに対して手動でウイルス検索を実行します。また、フロッピー、MO、CD-ROMなどのメディアを新しく入手した場合や、メディアでデータを渡す場合のウイルスチェックにも手動検索を使用します。

イージーモードではメイン画面の[全ドライブ検索]ボタンをクリックするだけで、お使いのコンピュータのすべてのローカルドライブを対象にウイルス検索を開始できます。

アドバンスモードでは設定画面で検索オプションや処理などの詳細を設定できます。検索の実行はメイン画面で操作します。

## 個別ファイルの手動検索

たとえばe-mailにファイルを添付して送信する場合、圧縮ファイルやWord文書、Excelデータファイルなどは、ウイルスチェックしてから送信すると安心です。こうした個別のファイルは、次の方法でより素早くウイルス検索を開始できます。

-  ウイルスバスターのメイン画面が表示されている場合は、メイン画面上にファイルをドラッグするだけでウイルス検索が開始されます。
-  エクスプローラからファイルを指定し右クリックします。ポップアップメニューから[ウイルスバスター]を選択します。ウイルス検索が開始されます。
-  エクスプローラからファイルを指定し右クリックします。ポップアップメニューから[プロパティ]を選択し、[ウイルスプロパティ]タブをクリックします。ウイルス検索が開始され結果が表示されます。

## 手動検索の自動実行(予約検索)

自動的に手動検索を開始するように予約設定することができます。

イージーモードでは、すべてのファイルを月1回、プログラムのみを週1回、C:ドライブのみを月1回自動的にウイルス検索します(初期設定の場合)。

予約設定はアドバンスモードの設定画面で自由に変更することができます([検索設定][タスクの編集]設定メニューを選択)。

### タスクの編集

ウイルスバスターでは、検索設定を編集可能なタスクとして保存することができます。タスクを利用することで、異なる複数の条件の検索設定を簡単に管理し実行することができます。予約検索だけでなく、フロッピードライブの検索やマクロウイルスの検索などの便利なタスクが、あらかじめ用意してあります。

# ウイルス駆除

ウイルスに感染したファイルを検出しただけではウイルスからコンピュータを守ることはできません。感染ファイルのウイルスを速やかに処理し、ウイルスの被害を防ぐ必要があります。ウイルス駆除は、感染ファイルからウイルスのみを取り除く処理です。ウイルス駆除されたファイルは、正常なファイルとして感染前と同様にご使用いただけます。

## [ファイルの検索]画面

手動検索が開始されると、[ファイルの検索]画面が表示されます。



ウイルスが検出されると画面のリストにウイルス名、感染ファイル名、実行された処理が表示されます。処理の状況を確認してください。

## リアルタイム検索でウイルスが検出された場合

リアルタイム検索実行中にウイルスの侵入が検出されると、メッセージが表示され処理の状況が確認できます。初期設定の場合ウイルスは自動的に駆除または隔離されます。

## バックアップファイル作成オプション

ウイルスがファイルを破壊してしまっている場合など、ウイルスバスターがウイルスを駆除する際にファイルが壊れてしまう場合もあります。初期設定ではウイルスを駆除する前にバックアップが作成されます。

バックアップで作成されたファイルの拡張子はRB0またはRB1～RB8になります。バックアップファイルはウイルスが発見された場所に作成されます。

## Zip クリーン(圧縮ファイルのウイルス駆除)

Zip形式で圧縮されたファイルを自動的に解凍し、ウイルスを検出、駆除した後、ファイルを元の圧縮された状態に戻す機能です。

[ウイルス検出時の処理]で削除を選択している場合は、圧縮ファイル内のウイルス感染ファイルを削除します。

アドバンスモードの設定画面([検索設定] [手動検索]/[リアルタイム検索]/[メール検索])の[圧縮ファイルのウイルス駆除]チェックボックスで、Zipクリーン機能の実行/停止を選択できます(初期設定では実行が選択されています)。

圧縮ファイルのウイルス駆除は、最初の階層のファイル(1回解凍して得られるファイル)のみ有効です。

## 圧縮ファイルのウイルス検索

[手動検索]および[リアルタイム検索]のウイルス検出は6レベル(階層)の多重圧縮まで対応します。初期設定では手動検索が圧縮レベル5、リアルタイム検索が圧縮レベル1に設定されています。対応する圧縮形式については、ヘルプを参照してください。

## 結果の確認(ウイルスログの表示)

ウイルス処理結果の統計的なデータについては、アドバンスモードのメイン画面の[ログの表示]で確認できます。



# ウイルス隔離 / ウイルス解析

## ウイルス隔離

ウイルスバスターには、感染ファイルや感染の疑いのあるファイルを隔離する機能があります。隔離されると、ファイルは隔離用の特別なフォルダ(ウイルスバスター 2001 のインストールフォルダの Quarantine フォルダ)に移動されます。

隔離されたファイルがウイルス感染していた場合、ウイルスは駆除されていませんが、ウイルスバスターによりファイル操作が制限されます。このため、誤って感染ファイルを実行してしまうのを防ぐことができます。

ウイルス駆除に失敗したファイルは、自動的に隔離処理されます(初期設定の場合)。

### 隔離後の処理、任意のファイルの手動隔離

アドバンスモードのメイン画面の機能バーで[ウイルス隔離]ボタンをクリックすると、ウイルス隔離の画面が表示されます。この画面から、隔離後の処理を選択し実行することができます。また、任意のファイルを手動で隔離することもできます。



## ウイルス解析

ウイルスバスターが検出、駆除できないウイルスは、トレンドマイクロのウイルス対策専門組織「Trend eDoctor Japan」で解析します。解析を希望するファイルをトレンドマイクロに送信するには、ウイルス隔離の画面でファイルを選択し[解析依頼]ボタンをクリックしてください。解析結果につきましてはe-mailにてご連絡いたします。

### 隔離処理以外の処理

アドバンスモードでは、ウイルス駆除および隔離以外の処理を選択することもできます。

#### ウイルス駆除に失敗した場合の処理(U)



### 放置(手動処理)

ファイルへのアクセスは中断されますが、ウイルスに対して自動での処理は実行されません。

### 拡張子変更

ウイルスに感染しているファイルの拡張子を VIR に変更することで、誤ってファイルを実行したり、開いてしまうことがないようにします。ファイルの拡張子を変更する際に同じ名前のファイルが既にある場合は、拡張子を V10 または V11 ~ V99 のように変更します。

### 削除

ウイルスに感染しているファイルをコンピュータ上から完全に削除します。

注意：一度削除してしまったファイルを元に戻すことはできませんのでご注意ください。

# WebTrap / URLフィルタ

インターネットを安心してお使いいただくために、ウイルスバスターではWebTrapおよびURLフィルタ機能を用意しています。

## WebTrap

インターネット上ではJava、ActiveXといった技術を使用したインタラクティブなコンテンツが一般的になっています。このためWebページの閲覧時に、気づかぬうちに不正プログラム(不正なJavaアプレット、ActiveXコントロール)をダウンロードしてしまう危険性も無視できません。

不正プログラムによりデータが破壊されたり、パスワードを盗まれたりするなどの被害から身を守るには、不正プログラムのダウンロードを阻止する必要があります。WebTrapは不正プログラムのダウンロードを監視し、リアルタイムで検出します。

WebTrapの使用/停止は、各モードの設定画面で選択できます。

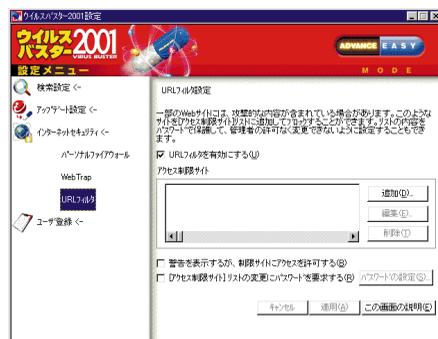


## URLフィルタ

URLフィルタは、好ましくない内容を掲載するWebサイトなどのURLアドレス(ホームページのアドレス)をあらかじめ登録しておくことにより、該当するサイトへのアクセスを制限します。

URLフィルタの使用/停止は、各モードの設定画面で選択できます。

アドバンスモードの設定画面ではアクセス制限サイトのリストを編集したり、リストを変更するためのパスワードを設定することができます。



# メール検索

メール検索機能では、受信する e-mail を監視し、e-mail を介して侵入するウイルスをリアルタイムで検出します。初期設定では、検出されたウイルスが駆除可能な場合自動的に駆除します。

自動的に駆除できなかった場合、初期設定では放置処理が適用されます。この場合、手動で感染ファイルを削除するとともに、感染ファイルの送信者にウイルス感染について通知することをおすすめします。

メール検索の使用/停止は、各モードの設定画面で選択できます。

アドバンスモードの設定画面ではウイルス検出時の処理を、[ウイルス駆除]、[放置(手動処理)]、[削除]から選択できます。



## メールソフトについて

次のメールソフトをお使いの場合、ウイルスバスター 2001 をインストールするだけでメール検索をご利用いただけます(ウイルスバスター 2001 のインストール時に自動的にメールソフトの設定が変更されます)。

Microsoft Outlook Express 4.0、5.0、5.5  
Microsoft Outlook 98、2000  
Netscape Messenger 4.5、4.6、4.7  
Eudora Pro 4.0、4.1、4.2

注意：自動設定で対応するソフトウェアは変更される場合があります。最新の情報は Readme ファイルで確認してください。

その他のメールソフトをお使いの場合、ウイルスバスターのメール検索機能を使用するにはメールソフトの設定を変更する必要があります。

## メールソフトの設定変更

自動設定に対応していない場合、お使いのメールソフトで、接続する POP3 サーバとユーザ名の設定を次のように変更します。

	変更前	変更後(例)
POP3 サーバ	mail.xxx.ne.jp	localhost
ユーザ名	UserName	UserName/mail.xxx.ne.jp

変更手順の詳細はお使いのメールソフトのマニュアルまたはヘルプを参照してください。

ポストベットをお使いの場合は、[POP アカウント]に設定されている内容を次のように変更します。

username@pop.xx0.so-net.ne.jp

username/pop.xx0.so-net.ne.jp@localhost

# パーソナル ファイアウォール

インターネットの普及にともない、不正アクセスによるコンピュータ上の情報の改ざん、破壊行為などが問題となっています。直接の被害にあわなくても、ハッカー(不正アクセス侵入者)が身元を隠して他のコンピュータに侵入するために、知らないうちにあなたのコンピュータが使用されているかもしれません。そのために実際の被害者から身に覚えのない批判を受けたり、社会的信用が傷つけられる場合も考えられます。

ウイルスバスター2001では、新たにパーソナルファイアウォール機能が追加されました。パーソナルファイアウォールでは、パケットをフィルタリングして任意のポートへのアクセスを拒否することで、不正アクセスの被害からお使いのコンピュータを守ります。

## パケットフィルタリング

送受信するパケットを監視します。IPアドレス、プロトコル(TCP/UDP)、ポート番号を指定したルールにより、特定のアクセスをブロックすることができます。ルールはユーザが自由に作成、編集できます。



## 既知の不正アクセスプログラムのブロック

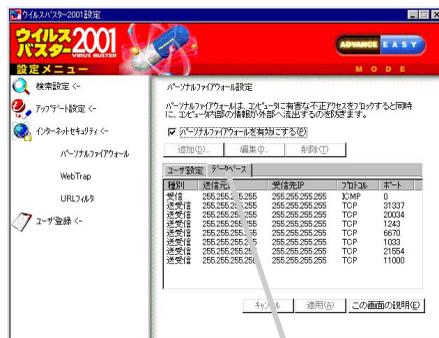
すでに確認されている不正アクセスプログラムについては、その不正行為を発見するためのルールを集めたデータベースを用意しています。ユーザが設定する必要はありません。

## パーソナルファイアウォールの実行、設定

パーソナルファイアウォールの使用/停止は、各モードの設定画面で選択できます。

各モードのメイン画面からパーソナルファイアウォール画面を表示し動作状況を確認することができます。

アドバンスモードの設定画面では、パケットフィルタリングのルールの詳細を設定することができます。



すでに確認されている不正プログラムについては、その不正行為を発見するためのルールを集めたデータベースを用意しています。[データベース]タブをクリックすると、このデータベースに含まれているルールが表示されます。

# インテリジェント アップデート

## パターンファイルと更新(アップデート)

ウイルスバスターではパターンファイルと呼ばれるデータベースを使用してウイルスを検出しています。新しいウイルスが発見されるたびに、トレンドマイクロではパターンファイルを更新(アップデート)しています。

お使いのウイルスバスターで最新のウイルスに対応するためには、パターンファイル、プログラムを更新する必要があります。ウイルスバスターでは、トレンドマイクロの専用サーバからインターネット経由で最新のパターンファイル、プログラムをダウンロードする機能を用意しています。

## 差分アップデート

ダウンロード時間の短縮のため、新たに追加されたパターンファイルのみをダウンロードする差分アップデート方式を採用しています。

## インテリジェントアップデート

インテリジェントアップデートでは、コンピュータの起動後インターネット接続状況を検知すると自動的にトレンドマイクロの専用サーバに接続し、サーバ上のパターンファイルや検索エンジン、プログラムのバージョン(番号)をチェックします。使用中のものより新しいものがサーバ上にあれば、ダウンロードを開始するかどうかメッセージを表示してお知らせします。

インテリジェントアップデートの使用 / 停止の選択、接続開始時間 / 終了時間などの設定は、アドバンスモードの設定画面でできます。

注意: インストール時にインターネット接続の種類を[ルータ]に選択した場合、初期設定ではインテリジェントアップデートは停止されています。インストール時に「ダイヤルアップ」[常時接続]を選択した場合は、初期設定でインテリジェントアップデートは実行されます。

## 手動アップデート

ユーザが必要を感じたときに、いつでも手動でアップデートを開始することができます。手動アップデートは、各モードのメイン画面からアップデート画面を表示して実行します。

注意:すでに最新のファイルをご利用になっている場合、アップデートを実行してもファイルが更新されない場合があります。



## プロキシサーバの設定

プロキシサーバを経由するインターネット接続環境をご利用の場合、プロキシサーバの設定が正しくないとアップデートに失敗する原因となります。

ご使用のMicrosoft Internet Explorerですでにプロキシサーバの設定がされている場合、ウイルスバスター2001をインストールすると自動的に同じ情報で設定されます。

自動的に設定されない場合は、プロキシの設定画面で必要な情報(プロキシサーバのIPアドレスおよびポート番号)を入力してください。認証にユーザ名とパスワードが必要な場合もあります。不明な場合は、ネットワーク管理者またはインターネットプロバイダにお問い合わせください。

# 救済ディスク

救済ディスクは、システム領域感染型ウイルスに感染したシステムを復旧する場合に使用するフロッピーディスクです。

システム領域にウイルスが感染した場合、コンピュータを起動するたびにウイルスが活動を開始してしまいます。このため、ウイルスバスター 2001の機能を使用して、フロッピーディスクにコンピュータを起動するための情報と、ウイルスを駆除するためのプログラムを格納しておき、後でシステム領域感染型ウイルスに感染してしまった場合に使用します。

救済ディスクはウイルスに感染していない状態で作成する必要がありますので、ウイルスバスター 2001をインストールした直後に作成することをおすすめします。

**注意：** Windows NTおよびWindows 2000では、システム領域感染型ウイルスに感染したシステムを復旧する場合、各OSのユーティリティプログラムで作成した修復ディスクが必要となります。

**注意：** 旧バージョンのウイルスバスターで作成した救済ディスク、他のコンピュータで作成した救済ディスクは使用できません。また、OSのアップグレードなど、システムに変更を加えた場合も、救済ディスクを作成し直す必要があります。不適切な救済ディスクを使用すると、システムに重大な損傷を与えることになり、ハードディスクにアクセスできなくなりますのでご注意ください。

## システム領域感染型ウイルスとは？

フロッピーディスクやハードディスクのシステム領域(ブートセクタ、パーティションテーブル)という部分に感染します。この種のウイルスは、ディスクのシステム領域をウイルスプログラムで上書きします。このため、通常の起動処理の前にウイルスが呼び出されることになります。システム領域感染型ウイルスは、コンピュータの電源を切るまでメモリに常駐します。

救済ディスクの作成には、2HDのフロッピーディスクが3枚必要です。

必要な枚数が増える場合があります。正確な枚数については、作成時に表示される[救済ディスクの作成]画面を参照してください。

救済ディスクを作成するには、次の手順にしたがってください。

1. ウイルスバスター 2001のCD-ROMからRescue.exeを起動します。
2. 救済ディスクの作成プログラムが起動します。画面に表示される指示にしたがって救済ディスクを作成してください。



作成した救済ディスクは必ず書き込み保護を設定し、大切に保管してください。

# メニューの表示と ショートカットキー

メニューやショートカットキーを利用して、ウイルスバスターをマウスを使わずにキーボードだけで操作することが可能です。初期設定ではメニューは非表示になっていますが、ショートカットキーを使う場合、メニューを表示する必要があります。

## メニューを表示するには

ウイルスバスターの各画面のタイトルバーの左肩のカプセルのアイコンを右クリックします。表示された項目の中から「メニューを表示」を選択します。次回起動時よりタイトルバーの下にメニューバーが表示されるようになります(キーボードのみで操作する場合、[Alt]+[スペース][V]を押します)。



メニューを表示する

## ショートカットキーを使った操作

メニューを表示した状態で、マウスを使わずキーボードのみでウイルスバスターを操作するには、ショートカットキーを使います。[Alt]キーと各メニュー項目の後ろにあるアルファベットを同時に押すことでショートカットキーを操作することができます。



たとえばアドバンスモードの設定画面で「設定」メニューの「手動検索」を実行するには[Alt]+[C][M]の順にキーを押します。

## ウイルスバスター 2001 ショートカットキー一覧

### イーजीモード

メイン画面	ファイル	[Alt]+[F]	終了	[X]
	操作	[Alt]+[O]	設定	[C]
			全ドライブ検索	[S]
			最新版をダウンロード	[D]
			パーソナルファイアウォール	[P]
			クイックツアー	[Q]
ウイルス情報	[Alt]+[V]	ウイルス情報	[I]	
ヘルプ	[Alt]+[H]	ヘルプ	[H]	
設定画面	ファイル	[Alt]+[F]	終了	[X]
設定	[Alt]+[C]	イーजीモード	[E]	
		リアルタイム検索	[R]	
		メール検索	[P]	
		WebTrap	[W]	
		URLフィルタ	[U]	
		パーソナルファイアウォール	[F]	

### アドバンスモード

メイン画面	ファイル	[Alt]+[F]	終了	[X]
	操作	[Alt]+[O]	設定	[C]
			ウイルス検索	[M]
			アップデート	[U]
			ログの表示	[L]
			ウイルス隔離	[Q]
ウイルス情報	[Alt]+[V]	ウイルス情報	[I]	
ヘルプ	[Alt]+[H]	ヘルプ	[H]	
設定画面	ファイル	[Alt]+[F]	終了	[X]
設定	[Alt]+[C]	イーजीモード	[E]	
		手動検索	[M]	
		リアルタイム検索	[R]	
		メール検索	[P]	
		タスクの編集	[T]	
		プロキシ	[Y]	
		インテリジェント	[I]	
		パーソナルファイアウォール	[F]	
		WebTrap	[W]	
		URLフィルタ	[U]	
		ユーザ登録	[G]	
		サポート	[S]	

# 操作について 困ったときは...

## ヘルプの使い方

ウイルスバスターの操作手順の詳細は、ヘルプで説明されています。

ヘルプを表示するには、メイン画面を表示し、ツールバーアイコンの[ヘルプ]から[ヘルプ]を選択します。



ヘルプの目次で表示したいトピックを選択してください。キーワードを指定してトピックを検索することもできます。

各機能の画面からは、その画面を説明したヘルプトピックを表示することができます。作業領域の[この画面の説明]ボタンをクリックしてください。



ヘルプ画面

## Web上の製品情報

トレンドマイクロのWebサイトでは、製品Q&A検索「eDoctor Solution」を提供しています(<http://inet.trendmicro.co.jp/esolution>)。

これは製品に関する一般的な質問とそれに対する回答を集めたデータベースです。



トレンドマイクロではeDoctor Solutionの内容を常に更新し、新しい情報を日々追加しています。

また、ウイルスバスターの操作画面から、ウイルスバスターユーザ専用のWeb情報ページに簡単にアクセスできます。アドバンスモードの設定画面で[ユーザ登録] [サポート]設定メニューをクリックし、表示される画面の[ジャンプ]ボタンをクリックしてください。ウイルスバスターの情報ページにアクセスします。

## ユーザ登録とテクニカルサポート

トレンドマイクロでは登録ユーザを対象に、電話、FAX、e-mailによる技術サポートサービスを提供しています。

サポートサービスをご利用いただくには、必ずユーザ登録が必要となります。ユーザ登録とサポートサービスの詳しい内容については、パッケージに同梱される「はじめにお読みください」を参照してください。

ウイルスバスター2001のパッケージ購入以外でご利用の場合、提供されるドキュメントの形態が異なる場合がございます。

# ウイルス感染を防ぐために

## リアルタイム検索でウイルスの侵入を防ぐ

ウイルス感染を防ぐために、ウイルスバスターのリアルタイム検索機能を活用することをおすすめします。リアルタイム検索が実行されている場合、お使いのコンピュータへのウイルスの侵入が常に監視されます。つまり、ファイルを開いたり、複製、保存するたびに自動的にウイルス検索が実行され、ウイルスが検出されると自動的に駆除または隔離されます(感染ファイルに対し他の処理を選択することもできます)。

## 最新のパターンファイルを使用する

ウイルスは日々新種が発見されているので、最新のパターンファイルおよびプログラムを使用することが重要です。最新のウイルスに対応するために、ウイルスバスターを定期的にアップデート(更新)してください。また、トレンドマイクロのホームページ([www.trendmicro.co.jp](http://www.trendmicro.co.jp))で、常に最新のウイルス情報を入手することをおすすめします。

## e-mailの添付ファイルに注意する

e-mailの添付ファイルからウイルスに感染するケースが増えています。ウイルスバスターのメール検索や手動検索機能を活用して、添付ファイルにウイルスが潜んでないことを必ず確認してから開くようにしてください。

## ダウンロードしたファイルやフロッピーディスクに注意する

インターネットからダウンロードしたファイルや、フロッピーディスクのファイルなど、特に出所のはっきりしないプログラムやファイルに対しては、常に用心してください。ウイルスバスターのリアルタイム検索や手動検索を活用し、ウイルスに感染していないか必ず確認することをおすすめします。

## 信頼できないWebサイトに注意する

Webサイトの閲覧中に、不正プログラム(ウイルスの仲間)を気づかぬうちにダウンロードし、実行してしまう危険が潜んでいます。信頼できないWebサイトには注意が必要です。ウイルスバスターのWebTrap機能では、不正プログラムをダウンロード前に検出することができます。

## 共有コンピュータの管理を徹底する

オフィスなどで複数のユーザがコンピュータを共有する場合、他のユーザがコンピュータをウイルスに感染させてしまうかもしれないことを考える必要があります。定期的にウイルス検索するなど、ウイルスバスターを活用しセキュリティ対策の管理を徹底してください。

## 感染の兆候があらわれたらウイルス検索を実行する

お使いのコンピュータに次のような症状があらわれる場合、ウイルスの感染、発病の可能性を疑ってみる必要があります。最新のパターンファイルでウイルス検索を実行することをおすすめします。

意図しないメール送信が行われる  
異常なメッセージが表示される  
プログラムのサイズ、作成日が変更されている  
見知らぬファイルが作成されている  
ファイルが破壊されたり、消去されている  
Microsoft WordやMicrosoft Excel使用時に、  
• 不審なダイアログボックスが表示される  
• 文書ファイルの内容が勝手に変更される  
• マクロの表示や編集ができない  
• ユーザの意図しない印刷が行われる  
プログラムが正常に動作しない  
不自然なディスクアクセスがある  
システムの日時が狂う  
システムが使用中に異常終了する  
システムが起動しない

# ウイルスに感染して しまったら...

## ウイルスが検出されたら...

ウイルスバスターで、ウイルスを駆除または隔離してください。初期設定のままご利用の場合、ウイルスは自動的に駆除または隔離されます。

なお、プログラムファイルにウイルスが感染した場合は、ファイルを削除し、オリジナルのインストーラからファイルを再インストールすることをおすすめします。

## ウイルスを駆除できない！

ウイルスバスターが検出したウイルスを駆除できない場合、まずは感染ファイルが隔離されていることを確認します。最新のパターンファイルをご利用でない場合、パターンファイルをアップデートし、再度駆除処理を実行してください。

自動で隔離されるように設定していない場合、手動で隔離してください。

## 最新パターンファイルでも駆除できない！

トレンドマイクロのウイルス対策専門組織「Trend eDoctor Japan」が対応します。22ページの「ウイルス解析」を参照してください。

## システム領域がウイルスに感染してしまった！

システムがシステム領域感染型ウイルスに感染した場合、「救済ディスク」(27ページの「救済ディスク」を参照)を使用してウイルスを駆除します。駆除方法の詳細は、表示されるメッセージをお書き留めのうえ、トレンドマイクロのサポートセンターまでお問い合わせください。

## 新種のウイルスに感染したかも...

最新のウイルス情報は、トレンドマイクロのホームページ([www.trendmicro.co.jp](http://www.trendmicro.co.jp))で入手できます。トレンドマイクロのウイルス対策専門組織「Trend eDoctor Japan」では、世界中のウイルス情報をいち早く収集して調査、解析する体制をとっており、ウイルスパターンファイルは通常1週間に1度更新されています。

万が一、最新パターンファイルで対応していないウイルスに感染してしまった疑いがある場合、トレンドマイクロのサポートセンターまでご連絡ください。

## 新種ウイルス対策補償

ウイルスバスター 2001 のパッケージを購入されたお客様に、新種ウイルス対策補償サービスを提供しております。対象となるお客様が万が一新種ウイルスによる被害を受けた場合に購入相当額を補償するものです。ウイルスバスター 2001 のパッケージを購入されたお客様は、詳細についてパッケージに同梱される「新種ウイルス対策補償申請書」を参照してください。

当社の別途規定する条件を満たす場合に限りです。

## 被害の届け出先

ウイルスを発見、またはウイルスに感染した場合は、政府関係機関である情報処理振興事業協会(IPA)のセキュリティセンターへの届け出をお願いします。感染被害の拡大と再発防止に役立てるための貴重な情報となります。詳細につきましては、IPAのホームページ([www.ipa.go.jp](http://www.ipa.go.jp))をご覧ください。

# 索引

## 英数字

eDoctor Solution (製品Q&A) 29  
Quarantine **フォルダ** 22  
Trend eDoctor Japan 7, 31  
URL フィルタ 23  
WebTrap 23  
Zip クリーン 21

## ア行

圧縮ファイルのウイルス駆除 21  
圧縮ファイルのウイルス検索 21  
アップグレード(体験版からの) 14  
アップデート 26  
アドバンスモード 18  
イージーモード 16  
インターネット接続の種類 9, 11  
インテリジェントアップデート 7, 26  
ウイルス解析 22  
ウイルス隔離 22  
ウイルス駆除 21  
ウイルス情報 15  
ウイルスデータベース 15  
ウイルスプロパティ 20  
ウイルスログ 21  
オンラインユーザ登録 9, 14

## カ行

拡張子変更 22  
機能バー 18, 19  
救済ディスク 27  
クイックツアー 14

## サ行

最新版をダウンロード 14  
作業領域 18, 19  
削除(感染ファイルの) 22  
差分アップデート 26  
システム領域感染型ウイルス 27  
ジャンプ(Web 情報ページへの) 29  
手動検索 20  
    個別ファイルの手動検索 20  
ショートカットキー 28  
シリアル番号 11, 14  
新種ウイルス対策補償 31  
製品情報 29  
設定メニュー 19  
設定画面(アドバンスモード) 19  
設定画面(イージーモード) 17  
全ドライブ検索 14, 20

## タ行

体験版 11  
体験版からのアップグレード 14  
タスクの編集 20  
ツールバーアイコン 15  
テクニカルサポート 29

## ハ行

バージョン情報 15  
パーソナルファイアウォール 14, 25  
バケットフィルタリング 6, 25  
パターンファイル 7, 30  
バックアップファイル作成オプション 21  
バレーンヘルプの表示 15  
プロキシサーバの設定 26  
ヘルプの表示 15, 29  
放置(手動処理) 22

## マ行

メール検索 24  
メイン画面(アドバンスモード) 18  
メイン画面(イージーモード) 14, 16  
メニューの表示 15, 28  
モード切り替えスイッチ 17

## ヤ行

ユーザ登録/アップグレード 14  
予約検索 20

## ラ行

ライセンスキー 14  
リアルタイム検索 13, 20  
リアルタイムモニタ 13